

協議事項(2) 地域間幹線系統確保維持計画の事業評価について

1. 協議事項

地域間幹線系統とは、複数の市町に跨る広域的・幹線的なバス路線のことで、事業者単独の維持が困難な路線では、輸送量や運行回数などの条件を満たすことで国や県の補助を受け運行している場合もあります。

国の補助を受け運行されている路線については、より効果的・効率的に事業を実施することを目的に、運行事業者は自己評価を実施し、公共交通会議においてその評価内容を確認するとともに、沼津市としての今後の取り組み方針や改善点等について協議・検討を行い、その結果を国へ報告することになっています。

2. 対象路線

No.	路線名	運行事業者	関係市町
1	原線	富士急シティバス	沼津市・富士市
2	がんセンター線	富士急シティバス	沼津市・長泉町
3	沼津大岡三島線	伊豆箱根バス	沼津市・長泉町・三島市
4	長岡伊豆三津シーパラダイス線	伊豆箱根バス	沼津市・伊豆の国市
5	沼津静浦長岡線	伊豆箱根バス	沼津市・伊豆の国市
6	戸田線	東海バス	沼津市・伊豆市
7	柿田線	東海バス	沼津市・清水町・三島市

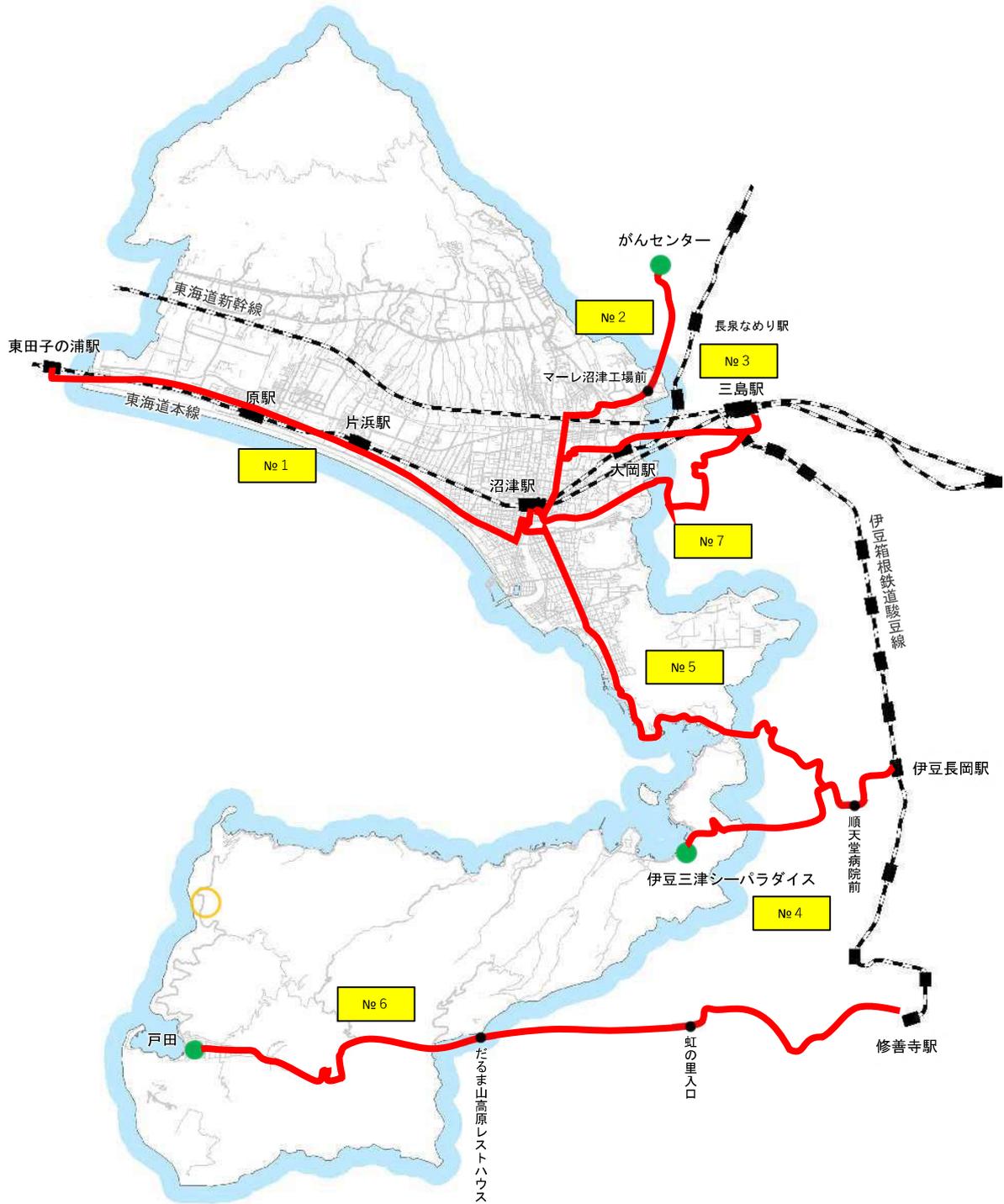
3. 評価対象期間

令和6年10月1日～令和7年9月30日（令和7年度運行分）

4. 資料

- ・地域間幹線系統 路線図
- ・令和7年度 地域間幹線系統に関する事業評価（静岡県資料）
- ・地域間幹線系統 事業評価シート（7系統分）
- ・【別冊データ】地域間幹線系統分析シート
- ・市町取組方針報告書

地域間幹線系統路線図



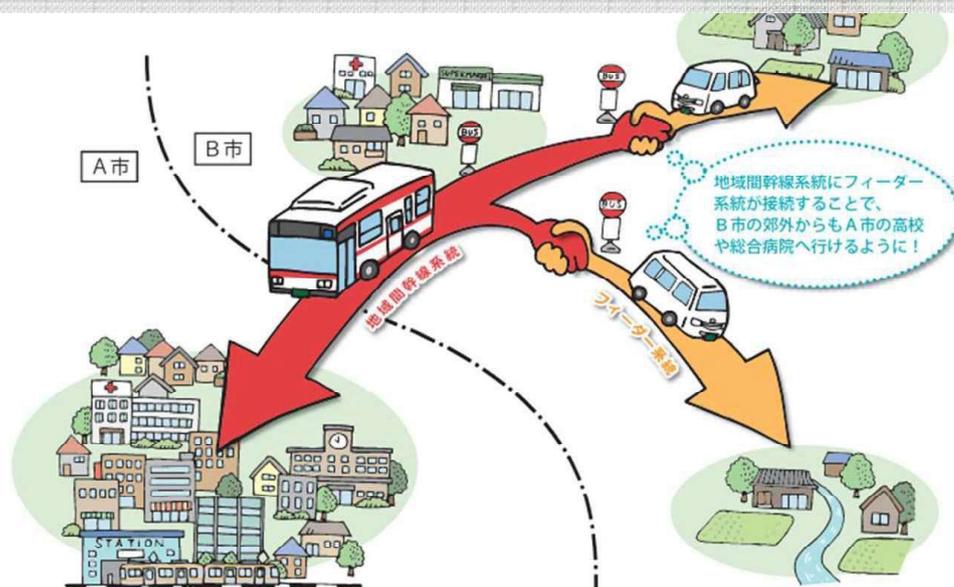
No.	路線名	運行事業者
1	原線	富士急シティバス
2	がんセンター線	富士急シティバス
3	沼津大岡三島線	伊豆箱根バス
4	長岡伊豆三津シーパラダイス線	伊豆箱根バス
5	沼津静浦長岡線	伊豆箱根バス
6	戸田線	東海バス
7	柿田線	東海バス

令和7年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

地域間幹線系統とは

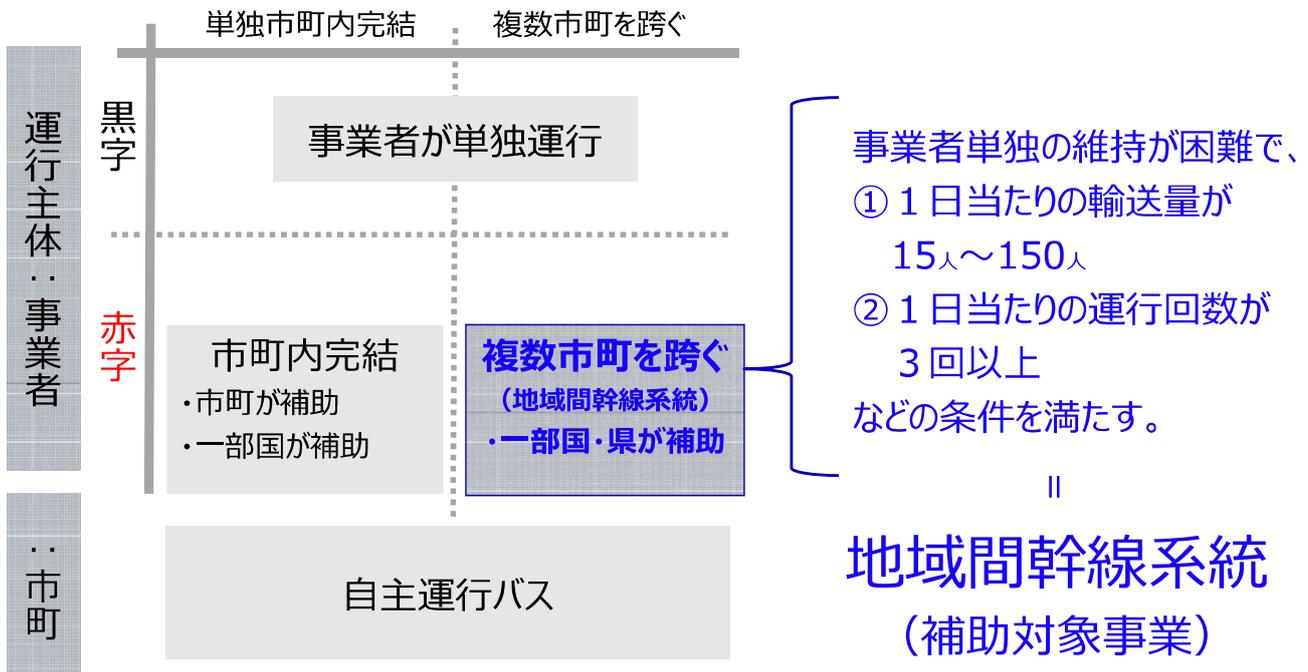
日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、
結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。(出典：中部運輸局「中部の交通圏」)
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。



出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために(監修：中部運輸局)

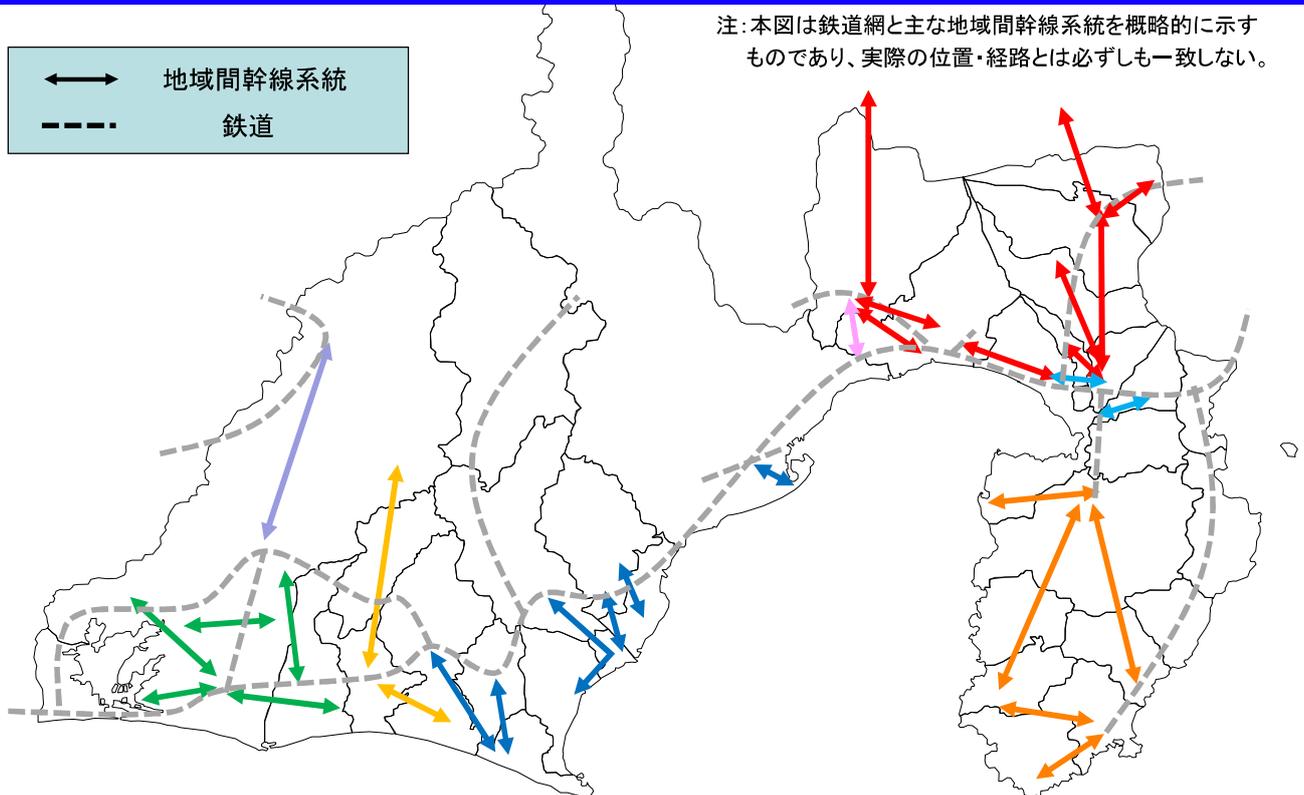
地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



2

県内の地域間幹線系統(概略図)



3

地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

- 補助対象事業が適切に行われているか確認する
- 評価結果を分析し、事業改善に繋げる
- 補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため
- (参考)事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局長に報告しなければならない。

※本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会を指す。

4

静岡県の地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・C・Dで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合 計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点以下

5

令和7年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通				1	1
秋葉バスサービス	2	1	1		4
遠州鉄道	5	9		2	16
しずてつジャストライン	4	5	1	1	11
富士急モビリティ	1	3			4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	3			4
富士急シティバス	2	4			6
伊豆箱根バス	2	1			3
東海バス	4	4			8
合計	23	30	2	4	59

6

評価結果内訳

○事業者ごとの系統別の評価

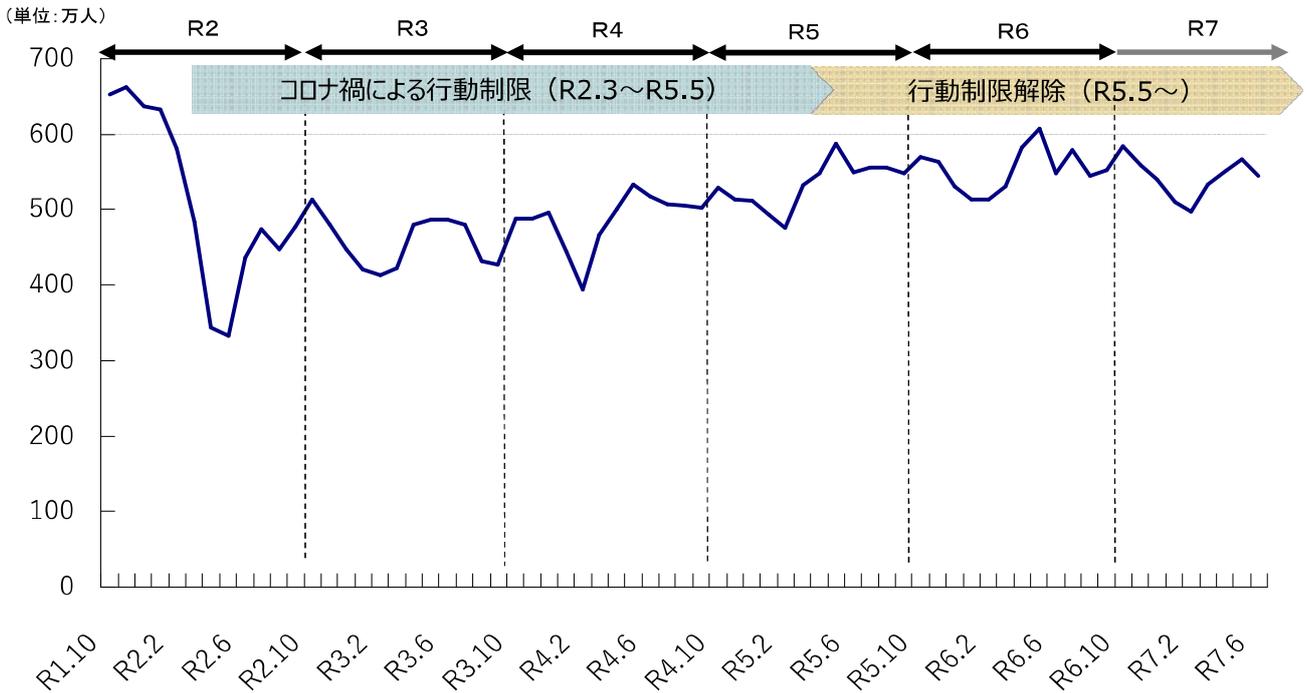
事業者名	系統名	R6	R7	比較	事業者名	系統名	R6	R7	比較	事業者名	系統名	R6	R7	比較	
1 山梨交通	富士宮駅～イオン 風山台～循環病院	C	D	△	22	三保草薙線	B	A	○	43	駿河平線	B	B	—	
2 秋葉バスサービス	秋葉線	D	C	○	23	五十海大住線	B	A	○	44	須山線	B	B	○	
3 秋葉バスサービス	秋葉中遠線	A	A	—	24	焼津岡部線	B	A	○	45	原線	B	B	—	
4 秋葉バスサービス	秋葉中遠線	A	A	—	25	藤枝吉水線	A	B	△	46	桜堤線	B	B	○	
5 秋葉バスサービス	秋葉中遠線	B	B	—	26	島田静波線	A	D	△△	47	がんセンター線	B	A	○	
6 遠州鉄道	浜北区大三方原聖隷線	B	B	—	27	島田静波線	B	B	—	48	がんセンター線	B	A	○	
7 遠州鉄道	磐田市立病院福田線	A	B	△	28	藤枝相良線	B	B	—	49	沼津大岡三島線	A	A	—	
8 遠州鉄道	中ノ町磐田線	B	A	○	29	菊川浜岡線	A	B	△	50	長岡伊豆三津シーパラダイス線	B	A	○	
9 遠州鉄道	秋葉線	B	D	△	30	掛川大東浜岡線	A	B	△	51	沼津静浦長岡線	B	B	—	
10 遠州鉄道	磐田天竜線	A	B	△	31	掛川大東浜岡線	B	A	○	52	石廊崎線	A	A	—	
11 遠州鉄道	磐田天竜線	B	B	—	32	掛川大東浜岡線	D	C	○	53	天城峠線	A	B	△	
12 遠州鉄道	掛塚さなる台線	A	A	—	33	御殿場線	A	B	△	54	戸田線	A	B	△	
13 遠州鉄道	内野台線	A	B	△	34	富士急モビリティ	駿河小山線	A	B	△	55	西海岸線	A	A	—
14 遠州鉄道	内野台線	B	A	○	35	富士急モビリティ	十里木線	A	B	△	56	バサラ峠線	A	B	△
15 遠州鉄道	磐田市立病院福田線	D	D	—	36	富士急モビリティ	河口湖線	A	A	—	57	バサラ峠線	A	B	△
16 遠州鉄道	引佐線	A	A	—	37	富士急バス	河口湖線	A	A	—	58	下賀茂線	A	A	—
17 遠州鉄道	萩丘都田線	A	B	△	38	富士急バス	新富士線	A	A	—	59	柿田線	B	A	○
18 遠州鉄道	大塚ひとみヶ丘線	A	B	△	39	富士急静岡バス	曾比奈線	C	B	○					
19 遠州鉄道	気賀三ヶ日線	A	B	△	40	富士急静岡バス	大淵線	C	B	○					
20 遠州鉄道	奥山線	A	B	△	41	富士急静岡バス	大月線	A	A	—					
21 遠州鉄道	掛塚さなる台線	A	A	—	42	富士急静岡バス	大月線	B	B	—					

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

7

〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10～R7.6)



(静岡県地域交通課調査)

8

燃料価格など物価高騰の影響①

■ 県内の軽油小売価格の推移 (R1.10～R7.10)



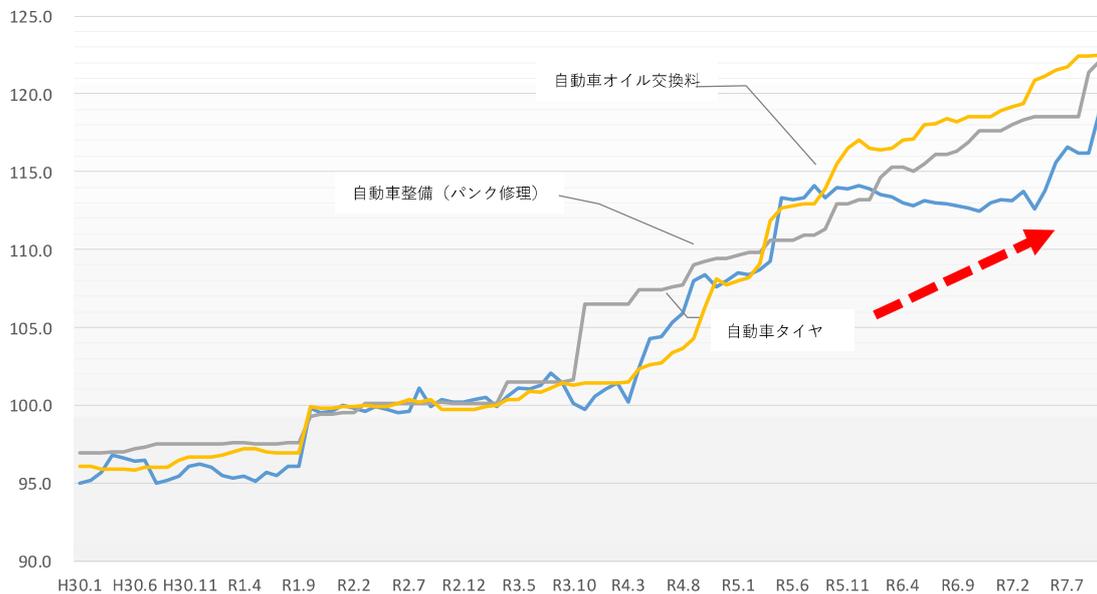
(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通課作成)

9

燃料価格など物価高騰の影響②

■ 車両維持費の推移 (H30.1～R7.10)

(物価指数：2020年=100)



(2020年基準消費者物価指数を元に県地域交通課作成)

10

事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ取組強化期間の設定 ・デジタルタコグラフを活用した指導で燃料費を抑制 ・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) ・EVバスの導入による動力費の削減
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの導入 ・スマホ定期券の販売を開始 ・キャッシュレス決済機器の導入 ・市町と連携したバスの乗り方教室の実施 ・HPの多言語化によるインバウンド客の利用促進

11

県内自治体による支援の事例

区分	事例
利用促進策	<ul style="list-style-type: none">▪ 公共交通利用券の配布▪ バスの日イベントの実施▪ バスロケーションシステム導入費用の補助▪ キャッシュレス決済機器導入費用の補助▪ 小学生を対象にしたバス無料デーの実施
物価高騰 対 策	<ul style="list-style-type: none">▪ 車両維持費への補助▪ 燃料費高騰分の補助

令和7年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率 50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+5%以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価(10点満点)
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (86点以上)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (66～85点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (51～65点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D (0～50点)	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考：R6：B）

- ・評価対象系統全59系統中、A評価：23系統、B評価：30系統、C評価：2系統、D評価：4系統
- ・平均点数が80.9点であることから、全体評価を『B』とした。
- ・各系統の評価結果は別添「令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	補助基準(40点)			実施状況(40点)			
		運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)		収支率 (15点)	乗車人員 (15点)		
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	10	5	15	12	3	15	
秋葉バスサービス	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	10	5	15	3	20	23	
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	12	20	32	
	4 秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	
	6 浜北医大三方原聖隷	10	30	40	12	15	27	
遠州鉄道	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	6	21	
	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	10	30	40	20	15	35	
	9 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	10	5	15	6	3	9	
	10 磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	10	30	40	20	6	26	
	11 磐田天竜線(ららぽーと経由)	10	30	40	15	6	21	
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	15	35	
	13 内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	3	23	
	14 内野台線(サンストリート浜北)	10	30	40	20	20	40	
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	10	5	15	12	6	18	
	16 引佐線	10	30	40	20	15	35	
	17 萩丘都田線	10	30	40	20	3	23	
	18 大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	3	23	
	19 気賀三ヶ日線	10	30	40	20	6	26	
	20 奥山線	10	30	40	20	3	23	
	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	
	しずてつジャストライン	22 三保草薙線	10	30	40	20	15	35
		23 五十海大住線	10	30	40	15	20	35
		24 焼津岡部線	10	30	40	15	20	35
		25 藤枝吉永線	10	30	40	15	3	18
		26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	5	15	12	3	15
		27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15
28 藤枝相良線		10	30	40	15	3	18	
29 菊川浜岡線		10	30	40	20	3	23	
30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)		10	30	40	12	3	15	
31 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)		10	30	40	20	20	40	
32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)		10	0	10	12	20	32	
富士急モビリティ		33 御殿場線	10	5	15	20	15	35
	34 駿河小山線	10	30	40	20	3	23	
	35 十里木線	10	30	40	15	3	18	
	36 河口湖線	10	30	40	20	20	40	
富士急バス	37 河口湖線	10	30	40	20	20	40	
	38 新富士線	10	30	40	20	20	40	
富士急静岡バス	39 曾比奈線	10	5	15	20	20	40	
	40 大淵線	10	5	15	20	15	35	
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	15	35	
	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	
富士急シティバス	43 駿河平線	10	30	40	20	3	23	
	44 須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	
	45 原線	10	30	40	12	6	18	
	46 桜堤線	10	30	40	20	6	26	
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	20	40	
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	15	35	
伊豆箱根バス	49 沼津大岡三島線	10	30	40	20	20	40	
	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	10	30	40	20	15	35	
	51 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	6	26	
東海バス	52 石廊崎線	10	30	40	20	20	40	
	53 天城峠線	10	30	40	20	6	26	
	54 戸田線	10	30	40	20	3	23	
	55 西海岸線	10	30	40	20	15	35	
	56 バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	10	30	40	20	3	23	
	57 バサラ峠線(下田駅～宇久須)	10	5	15	20	20	40	
	58 下賀茂線	10	30	40	12	20	32	
	59 柿田線	10	30	40	20	20	40	
計								

幹線性・広域性(20点)				評価					事業者 平均	全体評価
ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)		点数	A 86~100	B 66~85	C 51~65	D 0~50	計		
6	5	11	41				○	1	41.0	
10	5	15	53			○				
10	5	15	87	○				4	77.7	
6	8	14	86	○						
5	8	13	85		○					
10	8	18	85		○					
7	5	12	73		○					
9	5	14	89	○						
7	8	15	39				○			
8	10	18	84		○					
8	8	16	77		○					
9	8	17	92	○						
10	8	18	81		○			16	78.7	
10	8	18	98	○						
5	8	13	46				○			
10	5	15	90	○						
10	5	15	78		○					
10	0	10	73		○					
10	5	15	81		○					
10	8	18	81		○					
8	5	13	93	○						
10	2	12	87	○						
10	8	18	93	○						
6	10	16	91	○						
10	8	18	76		○					
10	10	20	50				○			
10	10	20	75		○			11	77.8	
10	10	20	78		○					
5	8	13	76		○					
9	10	19	74		○					
10	10	20	100	○						
4	10	14	56			○				
10	10	20	70		○					
10	10	20	83		○			4	82.2	
8	10	18	76		○					
10	10	20	100	○						
10	10	20	100	○				2	100	
8	10	18	73		○					
10	10	20	70		○			4	78.2	
10	10	20	95	○						
10	10	20	75		○					
8	8	16	79		○					
10	8	18	81		○					
10	2	12	70		○			6	82.5	
7	10	17	83		○					
6	5	11	91	○						
8	8	16	91	○						
10	10	20	100	○						
7	8	15	90	○				3	89.3	
7	5	12	78		○					
7	10	17	97	○						
10	8	18	84		○					
7	8	15	78		○					
10	10	20	95	○						
10	10	20	83		○			8	87.3	
10	10	20	75		○					
7	8	15	87	○						
10	10	20	100	○						
			80.9	23	30	2	4	59		

B

[全体評価の理由]
・平均評価点数が80.9点である。

地域間幹線系統項目別評価一覧表（輸送量）

事業者名	系統名	R5実績	R6実績	R7実績	備考
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	20.6	19.5	19.5	R8.1～退出
	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	19.8	14.5	19.2	
秋葉バスサービス	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	56.7	58.5	59.5	
	4 秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	22.1	24.6	24.6	
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	54.8	53.7	63.4	
	6 浜北医大三方原聖隷	25.0	20.4	21.7	
	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	27.2	24.9	24.9	
遠州鉄道	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	85.5	80.0	81.4	
	9 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	21.7	25.0	19.1	
	10 磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	28.4	25.9	24.9	
	11 磐田天竜線(ららぽーと経由)	61.4	59.6	55.3	
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	19.6	20.5	22.1	
	13 内野台線(内野台車庫)	46.2	42.3	40.0	
	14 内野台線(サンストリート浜北)	49.0	36.1	46.2	
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	21.7	19.4	17.6	
	16 引佐線	71.2	66.5	66.5	
	17 萩丘都田線	29.5	28.5	27.5	
	18 大塚ひとみヶ丘線	85.5	93.8	83.4	
	19 気賀三ヶ日線	61.0	65.3	63.6	
	20 奥山線	92.1	107.3	104.3	
	しずてつジャストライン	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	137.7	130.3	137.7
22 三保草薙線		40.4	39.9	41.6	
23 五十海大住線		26.7	25.2	29.9	
24 焼津岡部線		54.0	50.1	57.2	
25 藤枝吉永線		45.3	57.2	44.9	
26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)		23.1	25.6	19.2	
27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)		26.6	23.8	20.4	
28 藤枝相良線		55.4	59.6	49.9	
29 菊川浜岡線		38.0	46.5	45.0	
30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)		24.6	42.9	37.7	
31 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)		37.2	33.5	32.3	
32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)		31.9	6.7	11.3	R7.10～「30掛川大東浜岡線」と統合
富士急モビリティ	33 御殿場線	30.0	24.5	18.5	
	34 駿河小山線	31.8	34.4	27.2	
	35 十里木線	25.4	30.0	24.3	
	36 河口湖線	21.6	23.4	28.8	
富士急バス	37 河口湖線	74.0	79.2	81.0	
	38 新富士線	17.7	25.5	27.9	
富士急静岡バス	39 曾比奈線	16.1	15.1	15.6	
	40 大淵線	16.7	15.5	15.5	
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	85.1	79.2	81.1	
	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	17.4	15.3	15.6	
富士急シティバス	43 駿河平線	45.9	30.5	22.6	
	44 須山線(三島駅～須山)	34.8	31.0	26.4	
	45 原線	31.9	31.5	24.3	
	46 桜堤線	54.9	58.8	53.5	
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	26.4	24.2	21.8	
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	58.5	37.3	39.2	
伊豆箱根バス	49 沼津大岡三島線	126.5	118.2	137.8	
	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	76.1	68.5	69.2	
	51 沼津静浦長岡線	149.4	135.0	135.7	
東海バス	52 石廊崎線	48.0	46.5	60.0	
	53 天城峠線	39.0	40.0	48.0	
	54 戸田線	26.6	37.8	25.5	
	55 西海岸線	54.4	58.9	59.8	
	56 パサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	44.0	48.8	48.8	
	57 パサラ峠線(下田駅～宇久須)	27.9	23.6	19.3	
	58 下賀茂線	—	22.7	20.5	
	59 柿田線	—	72.0	80.4	
計(平均値)		46.0	45.0	44.7	

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
富士急シテイバス株式会社	原線	沼津駅	片浜駅 原駅	東田子浦駅
関係市町				
系統キロ程	沼津市	富士市		
13.5 km				

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	7.6 回/日	10	7.5 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	24.3 人/日	30	31.5 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	37.9 %	12	54.7 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 79,765 人 計画 83,640 人	6	83,640 人 92,576 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアークセス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点 4 箇所 乗継バス停 2 箇所	10	4 箇所 2 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	7.9 %	2	9.9 %

評価指標	B
補助基準	40 / 40
実施状況	18 / 40
幹線性・広域性	12 / 20
合計	70 / 100

- A: 幹線として優れた役割を果たしている
- B: 幹線として適した運行となっている
- C: 改善に努力を要する
- D: 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	J R 東海道線と並行しており通勤、通院及び買い物における駅間の地域の公共交通を補充している。桃里地区、一本松地区に居住する小学生の沿線に位置する原小学校への通学利用、又、沿線に位置する保健センターへの訪問客や聖隷沼津病院への通院、お見舞い客等の利用が存する。沼津市南西部における J R や他の公共交通機関に接続する通勤、通学、買い物を中心とする公共交通ネットワークの構築を目的としている。 令和4年度からは沼津市利便増進計画における、幹線路線としての位置づけとなり、ライダー系統「ららぽーと沼津～原田地～原駅」線と連携して、接続輸送を行っている。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 沼津駅: J R 東海道線、御殿場線 東田子浦駅: J R 東海道線 片浜駅: J R 東海道線、ららぽーと沼津～原田地～原駅、片浜～柳沢線 原駅: J R 東海道線、コミュニティバス原・浮島線、ららぽーと沼津～原田地～原駅 (乗継ぎバス停) 大手町: 伊豆箱根バス、東海バス 大諏訪: ららぽーと沼津～原田地～原駅、沼津市立病院・ららぽーと沼津方面 (バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 【公共施設】長泉北小学校、J R 下土狩駅、伊豆箱根鉄道広小路駅、長泉町夜場、長泉健康公園(ウエルピア長泉)、静岡県立がんセンター、三島市民会館、長泉町文化会館、長泉小学校、長泉中学校 【拠点施設】ウエルピア長泉(ショッピングセンター)、スルガ銀行、ペックマン・コールドター、ファルママーバレーセンター(大手事業所)

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 2) 富士急グループのWEBサイトの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスに対応させている。 また乗換検索サービスにYahoo乗換案内、GoogleMap(ナビタイム)、駅ずばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap)) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 4) ノンステップバスを導入(車両更新)するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。 5) リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備した。
費用削減策	1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 2) アイドリンドラッグストア強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭調査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
富士急シテイバス株式会社	がんセンター線	沼津駅	マール沼津工場前	がんセンター
関係市町				
系統キロ程	沼津市	長泉町		
8.5 km				

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	3.9回/日	10	4.4回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	21.8人/日	30	24.2人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	73.7%	20	81.9%
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 39,500人 計画 37,293人	20	37,293人 41,452人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアークセス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点 1箇所 乗継バス停 4箇所	6	1箇所 4箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	20.0%	5	23.9%

補助基準	40 / 40	A	評価指標
実施状況	40 / 40		
幹線性・広域性	11 / 20		
合計	91 / 100		

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
- B : 幹線として適した運行となっている
- C : 改善に努力を要する
- D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	JR沼津駅から静岡がんセンターへのアクセスを目的とする他に、沼津市内の学園通りや大岡地区・長泉町内との通勤・通学・買い物等需要への対応を目的とする。 当路線により、沿線から沼津駅や他の公共交通機関に接続する公共交通ネットワークを形成している。 また、長泉町内から沼津駅へ直接アクセスできる数少ない路線の一つでもある。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 沼津駅 : JR東海道線、御殿場線 (乗継ぎバス停) 加藤学園入口 : 伊豆箱根バス 宮下 : 東名沼津方面 下長窪 : 三島駅方面 がんセンター : 駿河平方面
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 【公共施設】長泉北小学校、JR下土狩駅、伊豆箱根鉄道広小路駅、長泉町役場、長泉健康公園 (ウエルビヤ長泉)、静岡県立がんセンター、三島市民会館、長泉町文化会館、長泉小学校、長泉中学校 【拠点施設】ウエルディ長泉 (ショッピングセンター)、スルガ銀行、ベックマン・コールター、ファルマーバレーセンター (大手事業所)

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスに対応させている。 (ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内、GoogleMap) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 ノンストップバスを導入 (車両更新) するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすしいバス環境を整備した。 リアルタイム混雑情報提供機能付バスロケーションシステムを導入し、利用しやすいバス環境を整備した。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等について、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し燃料使用量の削減を図った。 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 効率的な従業員人件費の抑制を図った。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
伊豆箱根バス株式会社	沼津大岡三島線	沼津駅	市立高校前・上石田	三島駅
関係市町				
系統キロ程	沼津市	三島市	長泉町	
7.6 km				

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
	運行回数 3回/日以上を確保したか	21.2 回/日	10	21.9 回/日
	実績輸送量15人/日以上を達成したか	137.8 人/日	30	118.2 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	95.1 %	20	84.8 %
	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 248,254 人 計画 229,216 人	20	229,216 人 230,756 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
	他の系統と乗換可能なアクセス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点 4 箇所 乗継バス停 3 箇所	10	4 箇所 3 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	59.2 %	10	62.1 %
補助基準		40 / 40		
実施状況		40 / 40		
幹線性・広域性		20 / 20		
合計		100 / 100		

評価指標	A
------	----------

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
- B : 幹線として適した運行となっている
- C : 改善に努力を要する
- D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	J R 沼津駅～三島駅間を結び、沼津市・長泉町・三島市に跨がって運行しております。沿線には、高校・工場・病院等が点在しており、沿線住民の移動手段としての利用の他、沼津駅・大岡駅・三島駅からバスに乗り換え、沿線施設へ通勤・通学・通院される他地域からの方々の移動手段としても利用されております。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 【駅】 J R 沼津駅・ J R 大岡駅・三島広小路駅・ J R 三島駅 (乗継ぎバス停) 【バス停留所】 加藤学園入口・大岡駅前・本町
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 沼津中央高校・沼津市立高校・加藤学園高校・加藤学園初等学校・大岡中学校・知徳高校・西島病院・池田病院・ブラザヴェルデ・沼津商工会議所・サンワエル沼津・三島市民文化会館・三島商工会議所

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	◆ 企画乗車券のモバイル化 ◆ GTS - RT を Google マップ へ 反映 ◆ バス ロケ 機能 拡張 (マップ 上 で バス の 位置 を 表示)
費用削減策	◆ アイドリッジ ストップ 強化。 ◆ 有償・無償に係わらず事故の削減強化。 ◆ ダイヤ数の縮小にもなう減車

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
伊豆箱根バス株式会社	長岡伊豆三津シーパラダイス線	長岡駅	温泉駅・宗徳寺前	伊豆三津シーパラダイス
関係市町				
系統キロ程	伊豆の国市	沼津市		
7.7 km				

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	-	-	-
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	16.1 回/日	10	16.3 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	69.2 人/日	30	68.5 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	-	-	-
収支率 (20)	収入を確保できているか	59.8 %	20	64.6 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 122,788 人	15	121,278 人
		計画 121,278 人		
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	-	-	-
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか(詳細別記)	拠点 1 箇所 乗継バス停 5 箇所	7	1 箇所 5 箇所
	広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	44.0 %	26.5 %

評価指標	A
補助基準	40 /40
実施状況	35 /40
幹線性・広域性	15 /20
合計	90 /100

- A：幹線として優れた役割を果たしている
- B：幹線として適した運行となっている
- C：改善に努力を要する
- D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	沼津市の内浦・三津地区から伊豆の国市の伊豆長岡駅を結び2市を跨いで運行しており沼津市内の沿線には、伊豆・三津シーパラダイスをはじめ、内浦・三津地区に複数の観光・宿泊施設があり、生活利用の他、観光客の利用もごさいます。なお、伊豆の国市内の沿線には、伊豆長岡温泉・順天堂大学病院・伊豆の国市役所等、観光・宿泊施設・病院、公共施設が点在しており、観光利用も一定程度あるものの、多くは通勤・通学・通院等の生活交通として利用されております。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 【駅】伊豆長岡駅 (乗継ぎバス停) 【バス停留所】温泉駅・長岡総合会館前・宗徳寺前・三津郵便局・伊豆三津シーパラダイス (バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 長岡南小学校・順天堂大学病院・マックスパリュ長岡店・伊豆の国市役所・長岡総合会館・内浦地区センター

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	◆企画乗車券のモバイル化 ◆GIFS - RTをGoogleマップへ反映 ◆バスロケ機能拡張(マップ上でバスの位置を表示)
費用削減策	◆アイドリンドラッグストップ強化。 ◆有償・無償に係わらず事故の削減強化。 ◆ダイヤ数の縮小にもなう減車

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
伊豆箱根バス株式会社	沼津静岡長岡線	沼津駅	長塚・長岡湯本	伊豆長岡駅
系統キロ程				
16.0 km	沼津市	伊豆の国市	関係市町	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)				
運行回数 (10)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
	運行回数3回/日以上を確保したか	21.9 回/日	10	22.5 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	135.7 人/日	30	135.0 人/日
実施状況 (40)				
収支率 (20)	効果的に実施されたか	—	—	—
	収入を確保できているか	70.7 %	20	74.3 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 365,067 人 計画 369,100 人	6	369,100 人 405,850 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアグセス拠点(バス停数)はあるか(詳細別記)	拠点 2 箇所 乗継バス停 3 箇所	7	2 箇所 3 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	17.2 %	5	15.0 %
補助基準			40 / 40	
実施状況			26 / 40	
幹線性・広域性			12 / 20	
合計			78 / 100	

- A: 幹線として優れた役割を果たしている
 B: 幹線として適した運行となっている
 C: 改善に努力を要する
 D: 見直しの検討を要する

評価指標	B
------	----------

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	沼津市内の沿線には、沼津市役所・沼津市総合体育館・沼津簡易裁判所をはじめ、国道414号線沿いを運行していることから、商業施設や静岡小中一貫校などが点在しており、通勤通学・買い物等の地元住民の生活路線として、主にJR沼津駅までの移動手段としての利用が多く見受けられます。伊豆の国市内の沿線には、長岡中学校・長岡南小学校・伊豆長岡温泉・順天堂大学病院等、長岡地区の主要施設が点在しており、観光利用も一定程度ありますが、多くは通勤・通学をはじめ順天堂大学病院への通院や伊豆長岡駅までの移動手段にご利用されております。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 【駅】JR沼津駅・伊豆長岡駅 (乗継ぎバス停) 【バス停留所】大手町・口野口・温泉駅 (バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	沼津市役所・沼津市民文化センター・沼津総合体育館・沼津簡易裁判所・志下公会堂・沼津地区センター・江の浦中央公民館・多比公民館・長岡総合会館・沼津御用邸・順天堂大学静岡病院・長岡リハビリテーション病院・慈広会記念病院・瀬尾記念病院・静岡小中一貫校・沼津第四小学校・沼津第三小学校・長岡中学校・長岡南小学校・マミー沼津三園店・ジョイライランド香貫・ジャンボエンタープライズ沼津店・マツックス伊豆長岡店

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	◆企画乗車券のモバイル化 ◆GPS-RTをGoogleマップへ反映 ◆バスロケ機能拡張(マップ上でバスの位置を表示)
費用削減策	◆アイドリングストップ強化。 ◆有償・無償に係わらず事故の削減強化。 ◆ダイヤ数の縮小にともなう減車

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
株式会社東海バス	戸田線	修善寺駅	虹の郷	戸田
系統キロ程				
25.1 km	伊豆市	沼津市	関係市町	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考)前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
	運行回数 3回/日以上を確保したか	7.0回/日	10	6.9回/日
実施状況 (40)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	25.5人/日	30	37.8人/日
	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	52.4%	20	80.4%
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 55,391人 計画 78,224人	3	78,224人 28,915人
	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
幹線性・広域性 (20)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(詳細別記)はあるか	拠点 1箇所 乗継バス停 5箇所	7	1箇所 5箇所
	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	32.6%	8	34.1%

補助基準	40 / 40	B	評価指標
実施状況	23 / 40		
幹線性・広域性	15 / 20		
合計	78 / 100		

- A：幹線として優れた役割を果たしている
- B：幹線として適した運行となっている
- C：改善に努力を要する
- D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	修善寺駅と鉄道のない戸田地区を結ぶ重要な路線であり、また、戸田からは土肥温泉あるいは井田方面へ乗換えることができる幹線系統となっており、高齢化率の高い戸田地区においての地域住民の足元の確保が目的となっている。 伊豆市と沼津市の境となる「戸田峠」を越える利用は、全体の4割程度となっており、そのうち通勤、通学、通院等を目的とした地元客が9割以上を占めている。また、戸田峠を越えない短距離利用客の内訳は、修善寺温泉や虹の郷へ行く観光利用が多く、通院等の利用は比較的少ない。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 伊豆箱根鉄道線修善寺駅 (乗継ぎバス停) 湯川橋、修善寺インター、修善寺温泉、ニュータウン入口、戸田
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内)に存在する主な公共・拠点施設) 伊豆総合高校、戸田中学校、戸田小学校、伊豆赤十字病院、マックスバスリユ修善寺駅前店、伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、修善寺総合会館、沼津市戸田市民窓口、くるら戸田

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表検索サイトへの掲載により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高齢者定期券(伊東地区：ゆうゆうバス、中伊豆地区：いきいきバス、沼津地区：乗々バス)を引続き発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図っている。 5. バスログケーションシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 修善寺駅において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口(一部除く)において、クレジットカードおよびQRコード決済サービスの取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「Maas」に参画し、デジタルフリーパスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 12. 引き続き、バス停デザインの一括に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。 13. 2023年12月に運賃改定を実施。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. エコドライブ(省燃費運転)を継続して取り組み経費抑制に努めている。 2. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
株式会社東海バス	柿田線	沼津駅	柿田	三島駅
系統キロ程				
10.4 km	沼津市	清水町	三島市	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
	運行回数 3回/日以上を確保したか	14.1 回/日	10	15.1 回/日
実施状況 (40)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	80.4 人/日	30	72.0 人/日
	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	100.1 %	20	93.3 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 183,356 人 計画 162,986 人	20	162,986 人 174,211 人
	幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアークセス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点 3 箇所 乗継バス停 7 箇所	10	3 箇所 7 箇所
	広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	79.8 %	81.1 %

補助基準	40 / 40	評価指標 A
実施状況	40 / 40	
幹線性・広域性	20 / 20	
合計	100 / 100	

- A: 幹線として優れた役割を果たしている
 B: 幹線として適した運行となっている
 C: 改善に努力を要する
 D: 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	鉄道駅のない清水町から、地域の中心駅である「沼津駅」や新幹線も停車する「三島駅」のどちらにもアクセスしている系統であり、町民の通勤、通学、通院、買い物等の利用だけでなく、町外から上述の静岡医療センターへの通院や大型商業施設「サントムム 柿田川」での買い物、あるいは柿田川湧水公園への観光等の利用も多い路線です。市町を跨ぐ利用が多く、全体の8割程度となっています。
ネットワーク構成の詳細	(拠点) J R 沼津駅、J R 三島駅、伊豆箱根鉄道線三島広小路駅 (乗継ぎバス停) 大手町、八幡西、対面石入口、静岡医療センター、堂庭、千貫樋、本町 (バス停から半径500m以内)に存在する主な公共・拠点施設) 大岡南小学校、清水町立西小学校、三島市立西小学校、清水中学校、静岡医療センター、きせがわ病院、岡村記念病院、三島中央病院、サントムム 柿田川、ドン・キホーテ沼津店、スホーピアシラトリ沼津店、西友沼津店、マックスバリュエクスプレス三島本町店、清水町役場、三島市民文化会館、三島市立社会福祉会館、清水町地域交流センター、沼津警察署、清水町消防署、沼津駅、三島駅、三島広小路駅

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 3. 時刻表乗継サイトへの掲載により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようになっている。 4. 高齢者定期券 (伊東地区: ゆうゆうバス、中伊豆地区: いきいきバス、沼津地区: 乗たバス) を引続き発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図っている。 5. バス引継ぎシステムを活用し、バスの接近情報をスマートフォンで表示できるサービスにより、利便性の向上を図っている。 6. 三島駅において、デジタルサイネージを設置し、時刻案内等を行っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口 (一部除く) において、クレジットカード決済サービスを取り扱いを行うことにより、利便性向上を図っている。 9. 小田急の進める「Meas」に参画し、デジタルフリーパスの取り扱い等により利便性の向上を図っている。 10. 交通系ICカードの導入により、利便性の向上を図っている。 12. 引き継ぎ、バス停デザインの一括化に取り組み、バス停コードを付与すること等により、「わかりやすいバス」を推進する。 13. 2023年12月に運賃改定を実施。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. エコドライブ (省燃費運転) を継続して取り組み経費抑制に努めている。 2. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。

地域間幹線系統に対する市町取組方針報告書

市町名		沼津市
対象系統		
評価指標	A	がんセンター線、沼津大岡三島線、長岡伊豆三津シーパラダイス線、柿田線
	B	原線、沼津静浦長岡線、戸田線
	C	
	D	
市町の取組		
<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を沿線付近の公共施設や市内外の観光案内所のほか、主に駅周辺の宿泊施設に配架。 転入手続きの際に転入者に対し、バス路線図(沼津市公共交通deおでかけマップ)を配布。 沼津駅南口のデジタルサイネージにおいて、沼津駅発の路線バスの情報を集約し、使いやすさの向上に努めた。 沿線付近の小学校においてバスの乗り方教室を実施した。 バスに親しみや興味を持ってもらうことで利用促進を図るため、バスの日にちなんだバス車庫の見学会を実施した。 免許返納を見越した高齢者向けのパンフレットを作成するとともに、高齢者向けのバスの乗り方教室を実施した。 <p>【原線】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利便増進実施計画を策定し、令和4年4月1日から幹線である原線を軸とした路線の再編を行い、地域内フィーダー系統であるららぼーと・原団地・原駅線、片浜・柳沢線に乗り継ぐ場合の乗継割引を実施した。 片浜駅南口にデジタルサイネージを設置し、ららぼーと・原団地・原駅線、片浜・柳沢線の出発時刻をわかりやすく表示し、乗り継ぎしやすさの向上に努めた。 		
今後の方針(市町の意向等)		
評価指標	AまたはB	いずれの路線も一定の利用があり、引き続き国・県の補助を活用するとともに、上記取組を継続し利用促進を図ることで路線維持に努める。 いずれの路線も利用者は減少傾向にあることから、補助要件を満たすことができるよう、運行事業者と密に連携を取り、利用実態を注視する。
	CまたはD	

(記載要領)

- 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。
- 「今後の方針(市町の意向等)」は、当該系統をどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、**輸送量が20人/日未満(特に評価指標がCまたはDの系統)**については、国及び県の補助要件(輸送量15人/日等)を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください。